



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 フジプレアム株式会社
 コード番号 4237 URL <http://www.fujipream.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本倫長

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長 (氏名) 三浦理路

TEL 079-266-6161

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,159	8.3	321	35.0	340	32.4	215	24.7
29年3月期第3四半期	8,896	1.5	494	18.5	504	18.6	286	22.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 219百万円 (32.4%) 29年3月期第3四半期 324百万円 (9.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	7.55	
29年3月期第3四半期	10.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,233	8,650	55.8
29年3月期	17,085	8,601	49.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 8,502百万円 29年3月期 8,455百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		6.00	6.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の期末配当予想は未定であります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	13,012	1.4	907	37.2	911	29.1	501	17.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	29,786,400 株	29年3月期	29,786,400 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	1,211,461 株	29年3月期	1,211,461 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	28,574,939 株	29年3月期3Q	28,574,939 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、[添付資料] 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が堅調に推移したことから、緩やかな回復基調が継続しております。一方で、世界経済は、地政学リスクあるいは政策に関する不確実性に起因する金融資本市場の変動による影響のため、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような環境の中、当社グループの主力事業である精密貼合及び高機能複合材部門におきましては、高付加価値マーケットに対応すべく、生産技術の高度化とLED関連事業、メカトロニクス事業、新素材加工事業への取組みを強化しました。一方で、ディスプレイ市場では販売価格の低下の影響を受け、また、環境ビジネス部門におきましては、OEM供給品の生産量拡大に注力いたしましたが、国内再生可能エネルギー市場における制度の変更の影響を受ける状況となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高8,159百万円（前年同四半期比8.3%減）、営業利益321百万円（同35.0%減）、経常利益340百万円（同32.4%減）を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は215百万円（同24.7%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

精密貼合及び高機能複合材部門

国内外におけるディスプレイ市場は、高付加価値タイプのマーケットが成長、また、タッチパネル市場におきましては、中大型の静電容量方式の市場が拡大し、産業用分野や教育・医療分野、そしてアミューズメント分野等に使われる用途が広がっております。しかしながら、ディスプレイの販売価格が低下し、その影響を受ける状況となりました。このような市場の変化の中、精密貼合技術やメカトロニクス技術を活用し、新規生産設備の導入による生産の高度化を実施、更に、独自の技術を活かしたLED関連事業や車載関連ビジネス、そして新素材加工事業を推進し、新規ビジネスへの取組みを強化してまいりました。

この結果、売上高7,034百万円（前年同四半期比15.5%増）、営業利益351百万円（同17.3%減）となりました。

環境ビジネス部門

太陽電池の国内市場は、固定価格買取制度の見直しと買取価格の低下、また、海外生産品による価格競争の激化により、産業用市場の環境が、販売価格の低下等厳しさを増しました。このような状況に対応すべく、OEM供給品の生産量の拡大、メンテナンス市場の開拓等の施策を実施してまいりましたが、市場環境による影響が従前以上に大きくなっている状況となっております。

この結果、売上高1,125百万円（前年同四半期比59.9%減）、営業損失34百万円（前年同四半期は55百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が15,233百万円となり、前期末比1,851百万円の減少となりました。主なマイナス要因は、現金及び預金の減少982百万円、受取手形及び売掛金の減少739百万円等であり、

負債は6,583百万円となり、前期末比1,900百万円の減少となりました。主なプラス要因は、長期借入金の増加248百万円等であり、主なマイナス要因は、支払手形及び買掛金の減少832百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少635百万円等であります。

また、株主資本は利益剰余金の増加44百万円により8,444百万円となり、純資産は8,650百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月17日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,278,907	4,296,026
受取手形及び売掛金	2,256,601	1,516,852
商品及び製品	526,387	484,271
仕掛品	951,643	500,506
原材料及び貯蔵品	791,990	712,054
その他	377,891	322,597
流動資産合計	10,183,422	7,832,308
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,924,935	1,835,797
土地	2,521,563	2,521,563
建設仮勘定	1,516,772	2,174,579
その他（純額）	567,141	479,653
有形固定資産合計	6,530,412	7,011,593
無形固定資産		
その他	3,916	3,890
無形固定資産合計	3,916	3,890
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	45,202	48,622
その他	327,159	341,986
貸倒引当金	△4,662	△4,662
投資その他の資産合計	367,699	385,946
固定資産合計	6,902,027	7,401,431
資産合計	17,085,450	15,233,740

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,773,562	941,251
短期借入金	2,000,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	2,001,670	1,366,616
未払法人税等	157,970	1,140
賞与引当金	13,832	3,575
その他	698,192	183,176
流動負債合計	6,645,228	4,495,758
固定負債		
長期借入金	1,771,450	2,019,789
その他	67,013	68,073
固定負債合計	1,838,463	2,087,862
負債合計	8,483,692	6,583,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,440,803	2,440,803
利益剰余金	4,823,780	4,868,034
自己株式	△863,890	△863,890
株主資本合計	8,400,701	8,444,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,565	31,860
為替換算調整勘定	25,338	25,359
その他の包括利益累計額合計	54,903	57,219
非支配株主持分	146,153	147,944
純資産合計	8,601,758	8,650,118
負債純資産合計	17,085,450	15,233,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	8,896,874	8,159,798
売上原価	7,669,317	7,243,076
売上総利益	1,227,557	916,721
販売費及び一般管理費	732,719	595,001
営業利益	494,838	321,720
営業外収益		
受取利息	4,556	4,027
受取配当金	8,604	4,492
為替差益	—	4,929
助成金収入	5,488	—
投資有価証券売却益	—	4,427
固定資産賃貸料	887	853
その他	9,838	10,469
営業外収益合計	29,375	29,200
営業外費用		
支払利息	13,620	10,222
為替差損	4,564	—
その他	1,856	112
営業外費用合計	20,041	10,334
経常利益	504,172	340,586
特別利益		
固定資産売却益	—	355
特別利益合計	—	355
特別損失		
固定資産除却損	177	—
特別退職金	17,366	8,015
特別損失合計	17,544	8,015
税金等調整前四半期純利益	486,628	332,926
法人税、住民税及び事業税	181,143	12,173
法人税等調整額	12,248	103,259
法人税等合計	193,392	115,432
四半期純利益	293,235	217,493
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,943	1,790
親会社株主に帰属する四半期純利益	286,292	215,702

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	293,235	217,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,541	2,295
為替換算調整勘定	21,217	21
その他の包括利益合計	31,759	2,316
四半期包括利益	324,995	219,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	318,052	218,019
非支配株主に係る四半期包括利益	6,943	1,790

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。